

島中だより

教育目標
学ぶ意欲にとみ
心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
TEL 83-2011
文責 校長 竹花 和人

読書の秋 まずは1冊読んでみよう

校長 竹花 和人

文化祭も終わり、生徒は授業中心の学校生活を過ごしています。私は、毎日何回か授業を参観しているのですが、どの学年も授業に集中しており、とてもいい雰囲気です。特に3年生は、卒業後の進路を決定する時期ということもあり、どの授業でも緊張感が感じられます。また、1・2年生も2学期末テストが近いこともあり、宿題やテスト対策の課題などで文化祭前とは違った忙しい生活を過ごしているようです。

自分自身の中学校・高校時代を振り返ると、このような忙しい時期こそ本が読みたくなり、ちょっとした時間を利用して読書していたように思います。特に高校時代は、昼休みはかなりの時間学校図書館にいて、本を読んでいたことが思い出されます。(本を借りなかったのは、家で読み始めれば宿題等ができなくなるため)高校時代に司馬遼太郎の本にはまり、特に「竜馬がゆく」を何度も読み返したことが、私が社会科教師となったことに影響していると思っています。このような自分自身の体験から、生徒たちにも「読書することの楽しさ」をぜひ感じてほしいと願っています。

そこで、今回紹介する言葉は「今日の読書こそ、真の学問である」です。これは、吉田松陰が述べた言葉です。吉田松陰は江戸時代の長州藩士です。ペリーが4隻の黒船を率いて浦賀に来航したときに、外国の文明を学びたいとの思いで黒船に乗船しようと試みますが認められず、下田奉行所に自首します。何とか死罪は免れ長州へ移送されたのちに、松陰の叔父が開いていた松下村塾を引き継ぎ、たった1年ほどではありますが多くの青少年を指導しました。のちに、松下村塾で学んだ「久坂玄瑞・高杉晋作・伊藤博文・山縣有朋」らが尊王攘夷運動の中心となり、明治新政府で活躍したことから「明治維新の精神的指導者」とも言われています。

吉田松陰が下田奉行所に自首し、牢に入っていたころ、牢番(牢の役人)に「何かお手元の書物を貸してほしい」と申し出たそうです。牢番は「重いお仕置きを受けることになるのだから、牢の中で勉強しなくてもいいのではないか」と言うと、松陰は「自分がお仕置きにあうまで、まだ時間がある。それまでは一日の仕事をしなければならない。一日の学問、一日の事業を励んで、天地万物への御恩を報じなければならない。」と述べ、牢番はその言葉に感動して書物を貸したそうです。こうして読書に励んだ松陰が、松陰と一緒に黒船に乗船しようとして同じ牢にいた仲間に述べたのが「今日このときの読書こそ、本当の学問である」という言葉です。

「もしかしたら処刑されるかもしれない」という状況においても読書をしていた吉田松陰のようにはなれないかもしれませんが、宿題やテスト勉強の合間に、息抜きとして自分の好きな本を読むことは誰でもできると思います。ただ、読みたい本があっても、忙しさのあまり書店に行って本を購入する時間がないという生徒も多いと思います。そんな時には、ぜひ学校図書館に足を運んでください。中学生が楽しめるような本がたくさん揃えてあります。まずは1冊選び、ちょっとした隙間の時間に読書をしましょう。そうやって読んだ本が、もしかしたら自分の人生に影響するかもしれません。「読書の秋」といわれる今の時期に、まずは1冊の本を借りて読んでみませんか。

今日の読書こそ、真の学問である

フリー参観日を実施しました

11月10日（火）はフリー参観日でした。これに合わせて、昼には保護者対象の「給食試食会」を、6校時には「いのちを育む教育アドバイザーによる講演会」を行いました。

給食試食会は、今年度で南郷給食センターが廃止されることを受け実施したものです。希望を募ったところ2名のみでの参加でしたが、この日のメニュー「牛乳・焼きそば・たこメンチカツ・ごまごぼうサラダ・バナナ」を試食しました。試食した保護者からは「懐かしかった」「おいしかった」などの感想があり、好評でした。

また、6校時に行われた講演会は、青森労災病院の梅本実香先生を講師に、「性と生について考えよう ～中学生のための性教室～」という内容で行われました。1年生にはやや難しい内容でしたが、生徒たちは真剣に話を聞いており、これからの生き方について考えるきっかけになったようです。

この日は、延べ10名の保護者が来校し、生徒たちの学習する姿を参観していただきました。お忙しい中、どうもありがとうございました。



3年進路説明会を実施しました

11月5日（木）18時より、3学年保護者を対象に、進路説明会を実施しました。平成28年度青森県立高等学校入学者選抜要項、八戸工業高等専門学校入学者選抜要項、及び八戸市内各私立高等学校入学者選抜要項を抜粋した資料をもとに、学年主任の高田先生から「平成28年度入学者選抜にかかわる手続きや選抜方法」について説明をし、次に総括事務主幹の佐井さんから「高校進学にかかわる諸経費や進学後の授業料等と手続き」について説明をしました。

高校入試は、中学生にとって「自分の進路を自分で決める初めての機会」となります。自分が希望する道に進むことができるように、あと4か月ほどの期間ですが精一杯努力してほしいと思います。私たち教職員も生徒の皆さんが希望する進路が実現できるように、全力でサポートしていきたいと思います。

後期認証式を行いました

11月4日（火）の全校朝会で、後期認証式を行い、各学級の室長・副室長と各委員会の委員長に認証書を授与しました。

- 室長・・・橋場 猛（3年）
- 猶守 愛優（2年）
- 住澤 祐人（1年）
- 副室長・・・林 優夏（3年）
- 川畑 暁史（2年）
- 林 千秋（1年）

- 代議委員長・・・猶守 愛優（2年）
- 保健給食委員長・春日 千万里（2年）
- こくぞう委員長・林 玲奈（2年）
- 広報委員長・・・林 あずさ（2年）

後期は大きな学校行事が少ないため、生徒会活動の本来の役割である「よりよい学校生活づくり」に向けた取組を充実させることができます。生徒たちが様々なアイデアを出し合って、工夫した活動を計画し、実施してくれることを期待しています。

南郷産業文化まつり

11月7日（土）8日（日）に行われた南郷産業文化まつりに、本校生徒の作品が展示されました。絵手紙や美術の作品は、他の作品よりも目立っているように感じました。

